

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

森林文化都市はんのう 水と緑の回廊づくりプロジェクト

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

埼玉県飯能市

### 3 地域再生計画の区域

埼玉県飯能市の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 4-1 地方創生の実現における構造的な課題

飯能市は都心から 50 km圏内に位置し、アクセスしやすい地域でありながら、里地・里山、豊かな自然を身近に体験できる地域であることが特長である。この特長を生かし、都心からの玄関口となる飯能駅（西武線）、東飯能駅（西武線、JR線）を中心とした市街地を取り囲むように、市民の憩いの場であり、本市を代表する観光スポット（駅から 3 km圏内）でもある「宮沢湖」「トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園」「飯能河原・天覧山」が点在している。これらの観光拠点には、市民のみならず、身近な自然の中での楽しみを求めて、都心からの観光客も年間を通じて訪れている。観光拠点の一つである宮沢湖畔には、北欧の雰囲気とムーミンの世界観が体験できる施設メツァが整備され、平成 30 年 11 月には湖畔の森で体験する北欧のライフスタイルを提唱するメツァビレッジ、平成 31 年 3 月にはムーミン一家とその仲間たち、そして新しい発見との出会いがあるムーミンバレーパークがグランドオープンしたことで、新たな人の流れが創出されつつある。

また一方で、本市の交流人口（観光入込客数）は増加しているものの、人口は平成 17 年の 84,982 人をピークに減少傾向に歯止めがかかっていない。特に若者世代の転出超過、晩婚化、未婚化、合計特殊出生率の低さは、少子化、人口減少傾向に拍車をかけている。

	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
総人口（人）	81,874	81,266	80,829	80,513	80,293
観光入込客数（千人）	2,242	2,382	2,480	2,648	2,695

※総人口：各年 1 月 1 日現在、観光入込客数：暦年カウント年間数



市街地を取り囲むように点在するこれらの観光スポットは、それぞれに集客力があり魅力があるものの、今までは面的な連携を意識することなく、それぞれに魅力を磨いてきた。今後は面的な連携の下、市街地周辺の観光スポットを都市回廊空間として魅力を磨き上げることに加え山間地域に人の流れを生むこと、新たな経済活動（仕事と雇用）を創出することとともに、交流人口の増加から定住移住を促進し、人口減少傾向に歯止めをかけていくことが課題となっている。

#### 4-2 地方創生として目指す将来像

##### 【概要】

観光スポットを結び付け、回遊性があり魅力のある都市回廊空間を築くことで、エリアとしての集客力を高め、経済活動（仕事と雇用）を安定的なものとする。

さらに、それらの観光拠点に集まる観光客を中心市街地（商業エリア）へ誘導することにより、観光拠点のみの経済効果に留まらせることなく広く中心市街地への経済効果を高め、中心市街地とそれを取り囲む観光スポットの双方向の好循環を創り出す。

また、飯能市の主要な観光拠点となるメツァ・都市回廊空間から山間地域への人の流れを生み、飯能市全体で交流人口の増加を目指し人口減少に歯止めをかけることが大きな目標である。

特に山間地域である名栗地域において観光・交流拠点の構築と強化を図り、都市回廊空間との回遊性を高めるため、「飯能市農林産物加工直売所」とその隣接地で観光的な視点を強化、拡充し、一体的に整備する「観光交流拠点整備事業」を実施する。民間事業者のノウハウを生かした新たな経済活動（仕事と雇用）の創出、観光振興、農業振興、林業振興、賑わいの場としての拠点、間伐体験や森林保全体験、家族や子供たちが自然に親しむ体験など自然とのふれあい、環境教育や情操教育の場としての活用、自然の中での体験等を通じた地域のファンを増やし移住・定住を促すなど、持続可能な地域の活性化に取り組むものとする。



## 【数値目標】

K P I	事業開始前 (現時点)	2019年度増加分 1年目	2020年度増加分 2年目
観光交流拠点入込客数(人)	50,000	0	2,000
新規施設売上高(千円)	0	0	30,000
新規施設雇用人数(人)	0	0	7

2021年度増加分 3年目	2022年度増加分 4年目	2023年度増加分 5年目	K P I 増加分 の累計
6,000	6,000	6,000	20,000
50,000	10,000	10,000	100,000
3	3	3	16

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

本市には、自然や歴史などの観光資源は多いが、「核」となる観光資源が存在してこなかった。しかし、宮沢湖畔に平成30年11月にはメッツァビレッジ、平成31年3月にはムーミンバレーパークが開業し、観光飯能に大きなインパクトを与えている。周辺に点在する主要な資源と連結した快適で魅力的な「都市回廊空間」を構築することで、交流人口の拡大を図り、観光スポット、中心市街地の双方に賑わいと活力を創出し、その波及効果を山間地域を含む全市的な広がりへとつなげる取組を実施していく。

- (1) 宮沢湖周辺の魅力アップ
- (2) トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園の魅力アップ
- (3) 飯能河原周辺の魅力アップ
- (4) 市立博物館へのビジターセンター機能等を追加
- (5) (1)から(4)を結びつける都市回廊空間の整備
- (6) シティプロモーション

また、特に山間地域への波及効果、観光客の誘導を加速化するため、下記取組みを実施する。

- (7) 山間地域への観光・交流拠点等の整備、魅力アップ
  - ・山間地域の名栗地域で飯能市農林産物加工直売所の観光交流拠点としての機能の強化、拡充

- ・メッツァを訪れる来場者を名栗地域へとつなげるための魅力と雇用の創出
- ・北欧の雰囲気を基調とした施設整備と民間事業者のノウハウを生かした事業展開
  - ①メッツァの北欧の雰囲気等メッツァと共通イメージを持たせた「宿泊事業」
  - ②話題性を持たせたイベントの実施「交流・賑わいの場となる事業」
  - ③地産地消、農林産物の販売を行う「農林業の振興に資する事業」
  - ④地元西川材の間伐材の利用促進につながる「北欧文化を体感できる空間と機会を提供できる事業」
  - ⑤地域への経済波及効果を発揮するため、他の観光資源へと結びつける役割を果たす「地域の観光情報発信に関する事業」
  - ⑥名栗地域の他のアクティビティの利用につながる仕組みとして「地域と連携し、地域の活性化につながる事業」
  - ⑦飲食の提供を行う「食に関する事業」
- ・森林資源を生かし、間伐体験や森林保全体験、家族や子どもたちが自然とふれあう環境教育や情操教育の場として活用
- ・自然の中での体験等を通じた地域のファンを増やし移住・定住を促進

## 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

### ○ 地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007（拠点整備）】

#### ① 事業主体

2に同じ。

#### ② 事業の名称

観光交流拠点整備事業

#### ③ 事業の内容

本事業は、平成31年3月にグランドオープンした北欧の雰囲気が体感できるテーマパーク「メッツァ」を核とする中心市街地周辺に点在する主要な観光スポットである「飯能河原・天覧山周辺」、北欧童話の世界観が体験できる「トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園」を連結した都市回廊空間から、来場者を山間地域に誘導するため、山間地域の観光・交流拠点である飯能市農林産物加工直売所を隣接する土地と一体的に整備し、観光・交流拠点としての機能強化、拡充を図るものである。

観光・交流拠点のメインターゲットはメッツァ同様とし、山間地域への人の流れを創出し、市内回遊ルートの構築と更なる市の認知度向上を狙う。そのため、施設整備コンセプトにはサウンディング型市場調査から得られた意見を参考に、メッツァの持つ北欧のイメージ、雰囲気を基調とした宿泊施設、交流機能としてのイベント施設（野外ステージ）、農林産物の販売、食の提供などを行うための場の整備を行うものとする。

また、拠点周辺の森林資源を生かした間伐体験や森林保全体験の場、家族や子どもたちが自然にふれあう環境教育や情操教育の場、自然の中での体験等を通じた地域のファンを増やし、移住・定住を促進するための交流、賑わいの場とする。

#### ④ 事業が先導的であると認められる理由

##### 【官民協働】

本施設は名栗地域において観光・交流拠点としての機能強化、拡充を図るため、市が整備する。整備後は指定管理者制度での民間事業者による運営とし、民間の経営ノウハウ、アイデアを活用するとともに、地域の林業家や事業者等と連携していくほか、施設内でのイベントとの連携などにより観光・交流拠点としての充実を図る。また、イベント実施にあたっては、イベントの主催者、スポンサーの獲得に努め、イベント利用料収入のほか、民間資金をもって事業を展開していく。

##### 【政策間連携】

本事業は、観光振興、農業振興、林業振興の政策間連携により賑わいの創出、地域の活性化、地域の産業資源・地域人材の活用など、様々な政策の連携により更に効果を発揮する事業である。山間地域における観光・交流拠点の一つである農林産物加工直売所に、観光交流拠点としての機能を強化・拡充し、観光客を山間地域に誘導するとともに、拠点周辺の森林資源を生かした間伐体験や森林保全体験、家族や子どもたちが自然に親しむ体験など自然とのふれあい、環境教育や情操教育の場としての活用、自然の中での体験等を通じた地域のファンを増やし、移住・定住を促すものである。

また、本市の観光主要拠点であるメッツァへの来訪者を都市回廊空間と山間地域の観光・交流拠点間で相互に誘導しあうことにより、地域の経済効果を更に高めるものである。

##### 【地域間連携】

埼玉県の西部地域は、西武池袋線沿線の飯能市、所沢市、狭山市、入間市、日高市の地域的つながりが深い5市で埼玉県西部地域まちづくり協議会を設け、観光をはじめとする連携を行っている。5市のほか、近隣自治体と連携を図り、埼玉県西部地域全体の集客を図るため圏域としてのプロモーションを展開する。また、様々な連携を行っている横浜市、墨田区、豊島区、秩父市などとの連携による広域的なプロモーションも進める。

##### 【自立性】

本施設は市が設置し、民間事業者による指定管理により運営する。地方創生拠点整備交付金を活用して設置する宿泊施設、イベント施設などによ

る宿泊、イベント開催のほか、食の提供、農林産物の販売などにより、拠点・地域への滞在時間の増加を促す。民間事業者の創意工夫により、各種サービスを提供して収入を得ること、かつ民間事業者の持つノウハウを生かしたプロモーションを展開し利用者の確保を図ることで、市の支援に頼らない「稼ぐ力」を発揮した運営が可能である。

⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4-2の【数値目標】に同じ。

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

事業のKPIは、実績値を飯能市ホームページで公表する。

また、産官学民の連携組織である飯能市地域創生会議による意見や議会の関与を得ながら事業の結果を検証し、改善点を踏まえて次年度の事業手法を改良することとする。

【外部組織の参画者】

当該年度の3月までの実績を集計し、翌年度の5月に外部有識者（大学関係者、飯能市地域創生会議等）による効果検証を行い、次年度以降の取組方針を決定する予定。

【検証結果の公表の方法】

目標の達成状況については、検証後速やかに市ホームページで公表を行う。

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・ 法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 154,528千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2024年3月31日まで

⑨ その他必要な事項

2019年度はイベント、農林産物の直売など交流拠点機能を持つエリア（第1工区）を優先的に整備し、2020年4月から拠点運営を開始する。宿泊施設等のあるエリア（第2工区）は2020年度に整備

### 5-3 その他の事業

#### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし。

#### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

##### (1) 回遊ルートづくり事業

###### ア 事業概要

観光スポットを連結するための回遊ルートづくりとして、案内看板、導標を設置

###### イ 実施主体

飯能市

###### ウ 事業期間

2019年4月1日から2024年3月31日まで

##### (2) アニメツーリズム推進事業

###### ア 事業概要

本市を舞台とするアニメ「ヤマノススメ」の聖地であることから、商工会議所、商店街と連携し、中心市街地や天覧山を舞台とした聖地巡礼や商店街と連携したスタンプラリーなどを実施

###### イ 実施主体

アニメツーリズム実行委員会

###### ウ 事業期間

2019年4月1日から2024年3月31日まで

##### (3) エコツーリズム推進事業

###### ア 事業概要

年間約150本のエコツアーを実施  
ツアー参加者は約4,000人を想定

###### イ 実施主体

エコツーリズム推進協議会

###### ウ 事業期間

2019年4月1日から2024年3月31日まで

##### (4) 県外国人観光客誘致事業

###### ア 事業概要

外国メディアを対象としたモニターツアー実施等により、本国へ

の情報発信

イ 実施主体

飯能市（埼玉県共催）

ウ 事業期間

2019年4月1日から2024年3月31日まで

(5) 隣接自治体間の観光スポットと連結した広域によるウォーキング事業

ア 事業概要

飯能市－日高市、飯能市－越生町間での広域ウォーキング事業実施

イ 実施主体

飯能市、日高市、越生町

ウ 事業期間

2019年4月1日から2024年3月31日まで

(6) 飯能住まい事業

ア 事業概要

農山村の豊かでゆとりある生活と地域の魅力を活かした良質な生活空間の創出

空き家バンク制度などの空き家対策事業と連携

金融機関との協定締結により低金利の住宅ローンを提供

イ 実施主体

飯能市

ウ 事業期間

2019年4月1日から2024年3月31日まで

(7) 森林保全事業

ア 事業概要

間伐体験や森林づくり、自然体験などを通じ、自然とのふれあい、環境教育、情操教育の場として活用を図る。

イ 実施主体

飯能市

ウ 事業期間

2019年4月1日から2024年3月31日まで

(8) 公共交通対策事業

ア 事業概要

全市及び山間地域における路線バスの路線の維持確保

イ 実施主体

飯能市

ウ 事業期間

2019年4月1日から2024年3月31日まで

(9) メッツァとの連携

ア 事業概要

北欧の雰囲気とムーミンの世界観が体験できる施設メッツァ運営業者である(株)ムーミン物語と連携した、誘客を目的としたイベント開催や共同プロモーションを行う。

イ 実施主体

飯能市、(株)ムーミン物語

ウ 事業期間

2019年4月1日から2024年3月31日まで

## 6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2024年3月31日まで

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

5-2の⑥の【検証方法】及び【外部組織の参画者】に同じ。

### 7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

4-2に掲げる目標について、7-1に掲げる評価の手法により行う。

### 7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

5-2の⑥の【検証結果の公表の方法】に同じ。